

## 平成30年度に実施した三重県計画事業の目標達成状況一覧表(医療分+介護分)

○:目標を達成したもの、△:概ね達成したもの・複数ある目標のうち一部を達成したもの、×:目標を達成できなかったもの

事業名	事業の区分(注1)	区域名	事業の実施主体	事業の目標	事業の達成状況	目標達成状況	備考
ICTを活用した地域医療ネットワーク基盤整備事業	①	桑員区域、三酒区域、鈴鹿区域、津区域、伊賀区域、松阪区域、伊勢志摩区域、東紀州区域	県内医療機関	三重医療安心ネットワークの参加施設数279か所(H30.3)を305か所(H31.3)にする。	平成31年3月末時点で、三重医療安心ネットワークの参加施設数は293か所となった。	△	引き続き参加施設の増加に努めるとともに、登録患者数の増加に努めたい。
地域圏統合型医療情報データベース活用基盤整備事業	①	桑員地域・三酒地域・鈴鹿地域・津地域・伊賀地域・松阪地域・伊勢志摩地域・東紀州区域	三重大学医学部附属病院	医療情報の収集元である医療機関とのネットワークシステムを含む「統合型医療情報データベース」の活用に必要なセキュリティ確保と精度を高めるための機能を強化する。	補助事業者において、作業人員の確保に不測の事態が生じ、作業に遅れが出たことから、令和元年9月末までの事業繰越を行うこととした。	△	引き続き事業達成に向けた作業を行っていただくため、令和元年度へ事業繰越を行った。
がん診療体制整備事業	①	桑員地域・三酒地域・鈴鹿地域・津区域、伊賀区域、松阪区域、伊勢志摩区域、東紀州区域	県内医療機関、緩和ケアネットワーク協議会、市町、歯科診療所、県(歯科医師会)	県内のがん診療、口腔機能の向上に関わる施設・設備の整備を行う医療機関や歯科診療所を21か所以上確保する。	平成30年度は、県内のがん診療に関わる施設・設備の整備を6ヶ所の医療機関で実施した。	△	口腔機能の向上に関わる施設・設備の整備については、平成27年度県計画を変更して平成30年度に43ヶ所の歯科診療所で実施した。
回復期病棟整備等事業	①	桑員区域、三酒区域、鈴鹿区域、津区域、伊賀区域、松阪区域、伊勢志摩区域、東紀州区域	県内医療機関	補助を活用し病床転換に取り組む施設数2か所を確保する。	平成30年度は2か所の医療機関が当事業による病床転換に係る整備を行った。	○	
救急患者搬送に係る情報共有システム支援事業	①	桑員区域、三酒区域、鈴鹿区域、津区域、伊賀区域、松阪区域、伊勢志摩区域、東紀州区域	NPO法人三重緊急医療情報管理機構	救急医療に関する医療機能の集約化と分化・連携を進めるため、県内全地域で検討を行う。	救急医療に関する医療機能の集約化と分化・連携を進めるため、県内全地域で検討を行った(15/15=全地域)	○	
多職種連携体制整備事業	①	桑員区域、三酒区域、鈴鹿区域、津区域、伊賀区域、松阪区域、伊勢志摩区域、東紀州区域	三重県(県医師会委託)	各研修会の参加者数延べ300人以上を確保する。	在宅医療・介護連携アドバイザー市町意見交換会(34名)、地域連携強化研修会(82名)、地域包括ケア報告会(83名)への参加者数:199名を得た。研修会等の開催により、在宅医療関係者の資質向上につながったが、300名以上の参加者は確保できなかった。	×	多職種連携体制整備に向けたニーズの調査とそれに基づく研修を実施する。
在宅医療体制整備推進事業	②	桑員区域、三酒区域、鈴鹿区域、津区域、伊賀区域、松阪区域、伊勢志摩区域、東紀州区域	郡市医師会等	補助事業を活用し在宅医療体制の整備に取り組んだ医師会数4か所(平成29年度実績)を5か所にする。	在宅医療体制の整備に取り組む3医師会に補助を行った。補助事業により、在宅医療の提供体制整備のための取組が進められたが、5医師会への補助は達成できなかった。	×	引き続き補助事業を活用していただけるよう市町・郡市医師会に向けた働きかけを行っていただきたい。
医療的ケアを必要とする障がい児・者の支援拠点構築事業	②	桑員区域、三酒区域、鈴鹿区域、津区域、伊賀区域、松阪区域、伊勢志摩区域、東紀州区域	三重県(医療機関へ委託)等	医療専門家の派遣により助言を受けた事業所数(現状値0か所)を4か所にする。医療的ケア児・者の緊急時の受入に対応するための事業所数(現状値15か所)を17か所にする。(平成30年度)	医療専門家の派遣により助言を受けた事業所数:11か所(平成30年度末)医療的ケア児・者の緊急時の受入に対応するための事業所数:17か所(平成30年度末)	○	
小児在宅医療・福祉連携事業	②	桑員区域、三酒区域、鈴鹿区域、津区域、伊賀区域、松阪区域、伊勢志摩区域、東紀州区域	三重大学医学部附属病院	小児在宅医療に係る研究会及び医療・福祉・教育関係施設に従事する看護師を対象とした研修会の参加者数延べ300人以上を確保する。	小児在宅研究会、小児在宅看護研修会を実施し、述べ654人の参加を得た。	○	
三重県在宅医療推進懇話会の運営	②	桑員区域、三酒区域、鈴鹿区域、津区域、伊賀区域、松阪区域、伊勢志摩区域、東紀州区域	三重県	懇話会の開催回数2回以上を確保する。	懇話会を3回開催した。	○	
保健師ネットワーク体制強化事業	②	桑員区域、三酒区域、鈴鹿区域、津区域、伊賀区域、松阪区域、伊勢志摩区域、東紀州区域	三重県	中堅リーダー技術研修1回、人材育成研修1回、保健所毎におけるネットワーク会議・研修会の開催回数1回以上を確保する。	中堅リーダー技術研修1回、人材育成研修1回、保健所毎におけるネットワーク会議・研修会を26回開催した。	○	
医療介護連携体制整備事業	②	桑員区域、三酒区域、鈴鹿区域、津区域、伊賀区域、松阪区域、伊勢志摩区域、東紀州区域	三重県	医療・介護資源の乏しい8か所の地域(各構想区域1か所)に、先進的な取組事例を普及させる。	医療・介護資源の乏しい2か所の地域(2構想区域)において、先進的な取組事例を紹介する事例検討会を開催した。また、県内の先進事例の取組紹介の冊子を作成し、三重県内の医療機関に配布した。	△	令和3年度の事業終了までに、引き続き先進的な取組事例の普及を進めていく。
在宅医療普及啓発事業	②	桑員区域、三酒区域、鈴鹿区域、津区域、伊賀区域、松阪区域、伊勢志摩区域、東紀州区域	三重県(郡市医師会委託)	各構想区域で1回以上の普及啓発事業を実施する。	委託事業により、在宅医療の普及啓発のための取組が進められたが、7構想区域での実施にとどまり、各構想区域で1回以上の普及啓発事業の実施は達成できなかった。	△	引き続き委託事業を活用していただけるよう市町・郡市医師会に向けた働きかけを行っていただきたい。
在宅医療推進のための看護師研修事業	②	桑員区域、三酒区域、鈴鹿区域、津区域、伊賀区域、松阪区域、伊勢志摩区域、東紀州区域	三重県(県看護協会委託)	訪問看護事業所及び医療機関の看護師を対象に研修会を実施し、研修参加者50人以上を確保する。	研修参加者は延べ43人であった。	△	引き続き受講促進に努めるとともに目標設定を見直す必要がある。
訪問看護人材確保事業	②	桑員区域、三酒区域、鈴鹿区域、津区域、伊賀区域、松阪区域、伊勢志摩区域、東紀州区域	三重県	県内1か所に訪問看護事業所間の協働体制が確立される。	訪問看護事業所の協働体制の確立に向けた調査を実施し、それに基づいた協議を行った。モデル地区を伊勢志摩地区と定め、「災害時の協働体制」の構築をテーマとして、関係機関と連携を取り進める方向性について合意形成を行った。	△	次年度も継続して取り組み、モデル地区における災害時の協働体制の構築を進める。

	事業名	事業の区分(注1)	区域名	事業の実施主体	事業の目標	事業の達成状況	目標達成状況	備考
16	認知症ケアの医療介護連携体制構築事業	②	桑員区域、三酒区域、鈴鹿区域、津区域、伊賀区域、松阪区域、伊勢志摩区域、東紀州区域	三重大学医学部付属病院、三重県医師会	「脳の健康みえる手帳」紹介先医療機関数を50施設にする。	脳の健康みえる手帳の紹介先医療機関数は47施設となった。	△	平成29年度46施設→平成30年度47施設 紹介先用件に当てはまる県内の医療機関についてはほぼ網羅しているが、新規の医療機関等については今後も引き続き掲載の働きかけを行う。
17	精神障がい者アウトリーチ体制構築事業	②	桑員区域、三酒区域、鈴鹿区域、津区域、伊賀区域、松阪区域、伊勢志摩区域、東紀州区域	三重県(県内医療機関委託)	多職種チームを精神科救急システム2ブロック(北部・中南部)にそれぞれ各1チーム設置できた(平成28年度)。平成30年度は各チーム合同の事例検討会を開催する。	各チームの合同事例検討会を開催できた。 各事業受託医療機関及び、各圏域管轄保健所、県庁主管課が参加した。	○	
18	居宅療養管理指導等に取り組む薬局研修事業	②	三酒区域	一般社団法人四日市薬剤師会	在宅の多職種連携における実践的な研修会の参加者数を20人以上とする。	在宅の多職種連携における実践的な研修会の参加者人数は46名となった。	○	
19	薬剤師在宅医療推進事業	②	桑員区域、三酒区域、鈴鹿区域、津区域、伊賀区域、松阪区域、伊勢志摩区域、東紀州区域	一般社団法人三重県薬剤師会	在宅医療アドバンス研修の参加者を受講者20名以上とする。	在宅医療アドバンス研修の参加人数は20名となった。	○	
20	意思伝達装置による在宅医療サポート事業	②	桑員区域、三酒区域、鈴鹿区域、津区域、伊賀区域、松阪区域、伊勢志摩区域、東紀州区域	三重県(一部NPO法人委託)	言語機能が著しく低下、または喪失した方の自宅等を訪問する件数を平成30年度に年間40回確保する。	言語機能が著しく低下、または喪失した方の自宅等の訪問を、平成30年度は年間26回実施し、機器の紹介や設定、再調整、機器等の貸出(8件)を実施した。	△	訪問件数は年間26回確保し、一定の成果を得ることができたが、当初の目標値には届かなかった。要請等があった場合に支援を行っているが、タイムリーな支援が行っていきけるようになっていきたい。
21	看護職のリーダー養成事業	②	桑員区域、三酒区域、鈴鹿区域、津区域、伊賀区域、松阪区域、伊勢志摩区域、東紀州区域	三重県	認知症・緩和ケアを含む地域包括ケア研修に4人以上派遣する。(平成30年度)	認知症・緩和ケアを含む地域包括ケア研修に4人派遣した。	○	
22	在宅医療看取り体制整備促進事業	②	桑員区域、三酒区域、鈴鹿区域、津区域、伊賀区域、松阪区域、伊勢志摩区域、東紀州区域	三重県(三重県医師会委託)	県内2会場で死体検案等研修会を開催し、概ね50名程度の受講者を見込む。	県内2会場で死体検案等研修会を開催し、42名の受講があった。	△	受講済医師が増えてきたこともあり、年々受講者が減少しており、目標人数を見直す必要がある。
23	地域医療支援センター運営事業	④	桑員区域、三酒区域、鈴鹿区域、津区域、伊賀区域、松阪区域、伊勢志摩区域、東紀州区域	三重県	派遣・斡旋する医師数134人(平成29年度)を150人(平成30年度)にする。キャリア形成プログラムの作成数17(平成29年度)を18(平成30年度)にする。 地域卒卒業医師数に対するキャリア形成プログラム参加医師数の割合21.7%(平成29年度)を23.0%(平成30年度)にする。	・派遣・斡旋する医師数(卒後3年目以降)は170名(平成30年度)となった。(○) ・地域卒卒業医師数(卒後3年目)のうち、キャリア形成プログラム参加割合は28.6%(平成30年度)となった。(○) ・キャリア形成プログラムの作成数は17(据置き)であった。(△)	△	医療法改正によるキャリア形成プログラムの見直しに併せて、目標設定の見直しを検討する。
24	地域医療支援センター運営事業(三重県医師会修学資金貸与制度)	④	桑員区域、三酒区域、鈴鹿区域、津区域、伊賀区域、松阪区域、伊勢志摩区域、東紀州区域	三重県	貸付者総数641人(平成29年度)を696人(平成30年度)にする。	貸付者総数641人(平成29年度)が690人(平成30年度)となった。	△	引き続き制度の周知を行い、貸与者の確保に努める。
25	医師派遣等推進事業(パティホスピタル派遣補助)	④	桑員区域、三酒区域、鈴鹿区域、津区域、伊賀区域、松阪区域、伊勢志摩区域、東紀州区域	県内医療機関	パティホスピタル派遣の実施月数12か月を維持する。(平成30年度)	パティホスピタル派遣を利用した、平成30年度の医師派遣数実績は4名、派遣実施月数は12ヶ月となった。	○	
26	初期研修医定着支援事業	④	桑員区域、三酒区域、鈴鹿区域、津区域、伊賀区域、松阪区域、伊勢志摩区域、東紀州区域	MMC卒後臨床研修センター	県内の病院で初期臨床研修を受ける医師のマッチング数を平成30年度実績で125人にする。(平成29年度実績115人)	平成30年度実績マッチング数119人	△	目標値には届かなかったが過去最多となった。引き続き県内病院の魅力発信を進め、マッチング数の増加につなげる。
27	地域医療対策部会の調整経費	④	桑員区域、三酒区域、鈴鹿区域、津区域、伊賀区域、松阪区域、伊勢志摩区域、東紀州区域	三重県	地域医療対策部会の開催回数2回以上を確保する。	平成30年度は、地域医療対策部会を1回開催した。 また、医療法改正に伴い会議体を統合した後、三重県地域医療対策協議会において、1回開催した。	○	
28	産科医等確保支援事業	④	桑員区域、三酒区域、鈴鹿区域、津区域、伊賀区域、松阪区域、伊勢志摩区域、東紀州区域	県内医療機関	手当支給者数561人以上を確保する。 手当支給者施設数33か所以上を確保する。(平成30年度)	平成30年度本事業の支援により、分娩手当を支給する医療施設数は34施設、分娩手当支給対象者は615人となった。	○	
29	産科医等育成支援事業	④	桑員区域、三酒区域、鈴鹿区域、津区域、伊賀区域、松阪区域、伊勢志摩区域、東紀州区域	県内医療機関	手当支給者数3人以上を確保する。 手当支給者施設数1か所以上を確保する。(平成30年度)	平成30年度本事業の支援により、産科医の育成・確保のため産婦人科研修医に対し、手当を支給する医療施設は1施設、手当支給対象者・支給実績は3人となった。	○	
30	新生児医療担当医確保支援事業	④	桑員区域、三酒区域、鈴鹿区域、津区域、伊賀区域、松阪区域、伊勢志摩区域、東紀州区域	県内医療機関	対象となる新生児医療業務件数を460件以上にする。(平成30年度)	本事業により、2医療機関に対し支援を行い、支援を受けた医療機関の平成30年度の新生児医療業務件数は541件となった。	○	
31	救急医療人材確保支援事業	④	桑員区域、三酒区域、鈴鹿区域、津区域、伊賀区域、松阪区域、伊勢志摩区域、東紀州区域	二次救急医療機関	非常勤医師を確保し、病院群輪番制等により救急対応した二次救急医療機関の対応延べ日数1,702日(H27)を1,800日(H30)にする。	非常勤医師を確保し、病院群輪番制等により救急対応した二次救急医療機関の対応延べ日数は1,796日であった。	△	引き続き、二次救急医療機関に対し事業の周知を行い、救急医療体制の強化に努める。
32	医師不足地域の医療機関への医師派遣体制の構築	④	伊賀区域	名張市	名張市立病院及び小児救急医療センターへ医師の派遣を行う。	当該事業により、常勤医師1名、非常勤医師4名の派遣を行った。	○	
33	結核医療を担う呼吸器内科医等の確保・育成支援事業	④	桑員区域、三酒区域、鈴鹿区域、津区域、伊賀区域、松阪区域、伊勢志摩区域、東紀州区域	三重県	結核医療を担うことの出発点となる専門性を有する医師等の確保・育成(3人/年)を行うとともに、医師等医療従事者に対する研修を年2回以上実施する。	医師等医療従事者に対する研修は実施できなかったが、初期研修医16名に対し、研修ローテーションにおける呼吸器内科に関する研修指導を行った。	△	後期研修医の研修プログラムの中で結核医療に関する研修を行い、より専門性を有する医師等の育成を行うとともに、三重中央医療センターに相談窓口を設置し支援体制を整備する。
34	三重県プライマリ・ケアセンター整備事業	④	桑員区域、三酒区域、鈴鹿区域、津区域、伊賀区域、松阪区域、伊勢志摩区域、東紀州区域	三重県(三重大学医学部付属病院委託)	医学生・看護学生をはじめとした医療従事者等をめざす学生(30人/年)及び県内で勤務する医療従事者等(5人/年)の教育・育成を実施する。	学生の教育・育成 169人 医療従事者等の教育・育成 19人 (プライマリ・ケアにかかる研修会等の開催 計8回432人)	○	
35	新専門医研修における総合診療医や指導医等の広域育成整備事業	④	桑員区域、三酒区域、鈴鹿区域、津区域、伊賀区域、松阪区域、伊勢志摩区域、東紀州区域	三重大学医学部付属病院	本事業を活用し、研修医(専攻医)と指導医を育成する。	育成拠点施設の整備として、1施設にテレビ会議システムを整備した。 また、研修医・指導医の研修支援等を実施した。	○	
36	小児救急地域医師研修事業	④	桑員区域、三酒区域、鈴鹿区域、津区域、伊賀区域、松阪区域、伊勢志摩区域、東紀州区域	市町	小児初期救急医療研修を受講した医師数(平成29年度実績:101人)を170人(平成30年度実績)にする。	小児初期救急医療研修を3地域で4日実施し、102人が受講した。	×	開催地域数はH29と同様であった。引き続き研修開催日程が増えるよう働きかけを行うとともに、目標設定を見直す必要がある。
37	女性医師等就労支援事業(子育て医師等復帰支援事業)	④	桑員区域、三酒区域、鈴鹿区域、津区域、伊賀区域、松阪区域、伊勢志摩区域、東紀州区域	県内病院、三重県(県医師会委託)	子育て医師等の復帰支援に取り組む病院数を7か所以上にする。 また、「女性が働きやすい医療機関」認証制度への申請医療機関数を4カ所以上にする。	子育て医師等の復帰支援に取り組む医療機関数は6か所であった。 また、「女性が働きやすい医療機関」認証制度への申請医療機関数は10カ所(再認証申請の5カ所を含む)であった。	○	

	事業名	事業の区分(注1)	区域名	事業の実施主体	事業の目標	事業の達成状況	目標達成状況	備考
38	歯科技工士確保対策・資質向上事業	④	桑員区域、三酒区域、鈴鹿区域、津区域、伊賀区域、松阪区域、伊勢志摩区域、東紀州区域	三重県(一部県歯科技工士会委託)	県内歯科技工所を対象とした歯科技工技術安全研修を年間10回開催し、新規就業者も含めた受講者数の増加をはかる。	歯科技工技術安全研修を10回開催し、延べ275人が受講した。	○	
39	新人看護職員研修事業補助金	④	桑員区域、三酒区域、鈴鹿区域、津区域、伊賀区域、松阪区域、伊勢志摩区域、東紀州区域	県内医療機関	新人看護職員研修補助により、年間600人以上の参加者数を確保する。	新人看護職員研修補助により、年間636人の参加者数を確保した。	○	
40	保健師助産師看護師実習指導者講習会事業	④	桑員区域、三酒区域、鈴鹿区域、津区域、伊賀区域、松阪区域、伊勢志摩区域、東紀州区域	三重県(県看護協会委託)	実習指導者講習会の受講者数60人以上を確保する。(平成30年度)	実習指導者講習会の受講者数は49人であった。	×	引き続き受講促進に努めるとともに目標設定を見直す必要がある。
41	潜在看護職員復職研修事業	④	桑員区域、三酒区域、鈴鹿区域、津区域、伊賀区域、松阪区域、伊勢志摩区域、東紀州区域	三重県(県看護協会委託)	潜在看護職員を対象とした研修会を3地域で開催し、研修参加者数30人以上を確保する。	3地域で研修会を開催し、潜在看護職員の参加者数は22名であった。	△	周知方法等を見直し、引き続き受講促進に努める。R元年度はフリーペーパーで研修概要を紹介するなどの取組を予定している。
42	看護教員継続研修事業	④	桑員区域、三酒区域、鈴鹿区域、津区域、伊賀区域、松阪区域、伊勢志摩区域、東紀州区域	三重県(三重県看護学校校長会委託)	看護教員継続研修参加者数延べ100名以上を確保する。(平成30年度)	参加者数は延べ91名であった。	△	研修内容・対象を変更したため、参加者数が減少した。目標設定を見直す必要がある。
43	CNA(認定看護管理者)フォローアップ事業	④	桑員区域、三酒区域、鈴鹿区域、津区域、伊賀区域、松阪区域、伊勢志摩区域、東紀州区域	三重県(県看護協会委託)	CNA(認定看護管理者)フォローアップ研修会参加者数延べ100人以上を確保する。(平成30年度)	参加者数は延べ214名であった。	○	
44	看護職員キャリアアップ支援事業	④	桑員区域、三酒区域、鈴鹿区域、津区域、伊賀区域、松阪区域、伊勢志摩区域、東紀州区域	県内医療機関	認知症認定看護師教育課程等の受講者15人以上に補助を行う。(平成30年度)	認知症認定看護師教育課程等の受講者6人に補助を行った。	△	県内の認知症認定看護師は平成30年7月現在24名であるが、研修修了者が本年5月に受験予定であり、増加が見込まれる。引き続き、補助制度の活用について周知に努める。
45	看護教員(専任教員)養成講習会事業	④	桑員区域、三酒区域、鈴鹿区域、津区域、伊賀区域、松阪区域、伊勢志摩区域、東紀州区域	三重県(三重大学委託)	講習会受講者数30人以上を確保する。(平成30年度)	講習会受講者数は16人であった。	×	近隣県と開講が重なったため、他県からの受講者を確保することが困難であった。今後は他県の状況をふまえて開催年度を検討していく。
46	新人看護職員研修事業	④	桑員区域、三酒区域、鈴鹿区域、津区域、伊賀区域、松阪区域、伊勢志摩区域、東紀州区域	三重県(県看護協会)	多施設合同研修に参加した(延べ)人数1,064人以上を確保する。新人助産師合同研修への参加者数25人以上を確保する。	多施設合同研修に参加した人数は(延べ)934人であった。新人助産師合同研修への参加者数は26人であった。	△	自施設で研修システムが構築されたことにより、参加者が減少したと考えられるため、目標設定を見直す。
47	がん医療水準均てん化の推進に向けた看護職員資質向上対策事業	④	桑員区域、三酒区域、鈴鹿区域、津区域、伊賀区域、松阪区域、伊勢志摩区域、東紀州区域	三重県(三重大学医学部附属病院委託)	研修受講者数9人以上を確保する。(平成30年度)	研修受講者数は11人であった。	○	
48	助産師活用推進事業	④	桑員区域、三酒区域、鈴鹿区域、津区域、伊賀区域、松阪区域、伊勢志摩区域、東紀州区域	三重県(県立看護大学委託)	助産師(中堅者)研修への参加者数30人以上を確保する。	受講者数は29人であった。	△	引き続き受講促進に努めるとともに目標設定を見直す必要がある。
49	助産実践能力向上研修事業	④	桑員区域、三酒区域、鈴鹿区域、津区域、伊賀区域、松阪区域、伊勢志摩区域、東紀州区域	三重県(県産婦人科医学会委託)	助産実践能力向上研修への参加者数200人以上を確保する。	研修参加者数は100人(助産師65人、看護師17人、医師18人)であった。	×	平成30年度から2日開催から1日開催に変更しているため、目標設定を見直す必要がある。
50	看護職のWLB推進事業	④	桑員区域、三酒区域、鈴鹿区域、津区域、伊賀区域、松阪区域、伊勢志摩区域、東紀州区域	三重県(県看護協会委託)	勤務環境改善に取り組む医療機関を対象に、アドバイザーが年4回以上直接相談を行う。	アドバイザーを10施設に派遣した。	○	
51	看護師等養成所運営費補助金	④	桑員区域、三酒区域、鈴鹿区域、津区域、伊賀区域、松阪区域、伊勢志摩区域、東紀州区域	看護師等養成所	看護師等養成所12施設に補助をする。(平成30年度)	看護師等養成所12施設に対して運営に必要な経費補助を行った。	○	
52	看護師等養成所実習施設確保推進事業	④	桑員区域、三酒区域、鈴鹿区域、津区域、伊賀区域、松阪区域、伊勢志摩区域、東紀州区域	県内医療機関	母性看護、小児看護及び助産の実習受入施設数13か所以上を確保する。	実習受入施設数13か所	○	
53	看護職員確保拠点強化事業	④	桑員区域、三酒区域、鈴鹿区域、津区域、伊賀区域、松阪区域、伊勢志摩区域、東紀州区域	三重県(県看護協会委託)	免許保持者届出制度登録者数(ナースバンク登録者含む)1,000人以上を確保する。	免許保持者届出制度登録者数は343人であった。	×	免許保持者届出制度について、事業委託先である県看護協会や各保健所を通じて制度周知を行ったが、目標達成に至らなかった。今後はより一層の制度周知に努める。
54	医療勤務環境改善支援センター事業	④	桑員区域、三酒区域、鈴鹿区域、津区域、伊賀区域、松阪区域、伊勢志摩区域、東紀州区域	三重県(県医師会委託)	センターの支援により勤務環境改善計画を策定する医療機関数1か所以上を確保する。	25医療機関に対して医療勤務環境マネジメントシステムの導入・定着支援を行ったものの、勤務環境改善計画を策定した医療機関数は0か所であった。	×	25医療機関に対して医療勤務環境マネジメントシステムの導入・定着支援を行ったものの、いずれの医療機関も勤務環境改善計画の策定までには至らなかった。引き続き医療機関への支援を継続することで、計画策定につなげる。
55	病院内保育所運営支援事業	④	桑員区域、三酒区域、鈴鹿区域、津区域、伊賀区域、松阪区域、伊勢志摩区域、東紀州区域	県内医療機関	病院内保育所の運営を通じて、看護職員等医療従事者の離職防止等に取り組む医療機関数29か所以上を確保する。	25医療機関に対して補助を行うとともに、24時間保育を行う9施設、病児等保育を行う1施設、児童保育を行う3施設、休日保育を行う14施設に対して加算補助を行った。	△	補助要項等を見直しを行い、当該事業に取り組む医療機関の拡充に努めたが、目標達成には至らなかった。補助要件の見直し等により、効果的な補助事業の実施に努めていく。
56	小児救急医療支援事業	④	桑員区域、三酒区域、鈴鹿区域、津区域、伊賀区域、松阪区域、伊勢志摩区域、東紀州区域	二次救急医療機関	常勤医師を確保し、病院群輪番制等により小児救急に対応した二次救急医療機関の対応延べ日数1,214日(平成27年度実績)を平成30年度も確保する。	常勤医師を確保し、病院群輪番制等により1,176日小児救急に対応した。	△	引き続き二次救急医療機関の小児救急対応日数が増えるよう働きかけを行っていく。
57	小児救急医療拠点病院運営補助金	④	桑員区域、三酒区域、鈴鹿区域、津区域、伊賀区域、松阪区域、伊勢志摩区域、東紀州区域	三重病院	小児救急診療体制3人(医師1人、その他2人)(平成29年度実績)を平成30年度も確保する。	小児救急診療体制3人(医師1人、その他2人)(平成30年度実績)を確保した。	○	
58	小児救急電話相談事業	④	桑員区域、三酒区域、鈴鹿区域、津区域、伊賀区域、松阪区域、伊勢志摩区域、東紀州区域	三重県(委託)	電話相談件数10,462件以上にする。	電話相談件数は10,859件であった。	○	
59	看護師等定着促進に関する支援事業	④	桑員区域、三酒区域、鈴鹿区域、津区域、伊賀区域、松阪区域、伊勢志摩区域、東紀州区域	三重県	看護系大学在学生貸与者22人(平成30年度)	看護系大学在学生20人に対し修学資金の貸与を行った。	△	継続貸与者で辞退者が出るなどわずかに目標を下回ったが、概ね達成できた。引き続き制度について周知を行い、看護職員の確保に努める。
60	女性薬剤師等復職支援スキルアップ研修事業	④	桑員区域、三酒区域、鈴鹿区域、津区域、伊賀区域、松阪区域、伊勢志摩区域、東紀州区域	一般社団法人三重県薬剤師会	研修会の参加人数20人以上とする。	女性薬剤師等復職支援スキルアップ研修会の参加人数は69名となった。	○	

	事業名	事業の区分(注1)	区域名	事業の実施主体	事業の目標	事業の達成状況	目標達成状況	備考
61	地域口腔ケアステーション機能充実事業	①	桑員地域・三泗地域・鈴亀地域・津地域・伊賀地域・松阪地域・伊勢志摩地域・東紀州地域	三重県(県歯科医師会、県歯科衛生士会、三重大学委託)、郡市歯科医師会	地域口腔ケアステーション数7か所(H28.1)を9か所(H31.3)にする。	地域口腔ケアステーションを9か所(H31.3)に整備した。	○	
62	三重県介護サービス施設・設備整備推進事業費	③	桑員地域・三泗地域・鈴亀地域・津地域・伊賀地域・松阪地域・伊勢志摩地域・東紀州地域	三重県	以下の施設等の整備及び開設準備経費の支援を行う。 ・介護老人福祉施設(定員30人以上) 20床(度会町) ・地域密着型介護老人福祉施設 1施設(松阪市) ・定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所 1事業所(玉城町) ・認知症高齢者グループホーム 3事業所(伊賀市、四日市市2事業所) ・看護小規模多機能型居宅介護事業所 1事業所(津市) ・施設内保育施設 1事業所(伊賀市) ・既存の特養多床室のプライバシー保護改修 1施設(紀北町)	以下の施設等の整備及び開設準備経費の支援を行った。 ・介護老人福祉施設(定員30人以上) 20床(度会町) ・地域密着型介護老人福祉施設 1施設(松阪市) ・定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所 1事業所(玉城町) ・認知症高齢者グループホーム 3事業所(伊賀市、四日市市2事業所) ・看護小規模多機能型居宅介護事業所 1事業所(津市) ・施設内保育施設 0事業所 ・既存の特養多床室のプライバシー保護改修 1施設(紀北町)	△	概ね目標を達成できた。施設内保育施設については、事業者及び市から次年度にて実施したい旨の申し出があったため、令和元年度にて実施予定。
63	介護人材確保対策連携強化事業	⑤	桑員地域・三泗地域・鈴亀地域・津地域・伊賀地域・松阪地域・伊勢志摩地域・東紀州地域	三重県	介護人材確保対策連携強化のための協議会を4回程度開催する。	平成30年度は、介護従事者の確保・定着に関する取組を検討する協議会を4回開催した。	○	
64	福祉・介護の魅力発信事業	⑤	桑員地域・三泗地域・鈴亀地域・津地域・伊賀地域・松阪地域・伊勢志摩地域・東紀州地域	三重県	県内の中学校・高等学校への訪問40校程度、セミナーの開催30回(2000名受講)程度実施する。	県内の中学校・高等学校延べ54校へ訪問し、セミナーの開催29回、2,245人が受講した。	○	
65	介護職員初任者研修資格取得支援事業	⑤	桑員地域・三泗地域・鈴亀地域・津地域・伊賀地域・松阪地域・伊勢志摩地域・東紀州地域	三重県	介護職員初任者研修等を4回開催し、受講者を140名とする。研修参加者のうち就職者数100名とする。	研修を4回開催し、88人が受講した。また、61名が就職へつながった。	△	受講希望者が落ち込んでおり、同時期の他の研修との競合もあり、目標達成はならなかった。研修内容や対象を精査していく。
66	シニア世代介護職場就労支援事業	⑤	桑員地域・三泗地域・鈴亀地域・津地域・伊賀地域・松阪地域・伊勢志摩地域・東紀州地域	三重県	研修を5回開催し、受講者を100名以上とする。研修参加者のうち就職者数15名以上とする。	研修を5回開催し、64人が受講した。また、14名が就職へつながった。	△	受講者数は目標に届かなかったが、就職者数は概ね目標を達成した。
67	地域住民や学校の生徒に対する介護や介護の仕事の理解促進事業	⑤	桑員地域・三泗地域・鈴亀地域・津地域・伊賀地域・松阪地域・伊勢志摩地域・東紀州地域	県内の養成施設、職能団体、介護事業所、事業者団体等	イベント・セミナー等を19回開催し、参加者を570名とする。	イベント・セミナー等を33回開催し、1,024名が参加した。	○	
68	成年後見制度理解促進事業	⑤	桑員地域・三泗地域・鈴亀地域・津地域・伊賀地域・松阪地域・伊勢志摩地域・東紀州地域	県内の市町	制度への理解を深めるための市民向けシンポジウムを開催する(100名参加・1回開催) 成年後見制度の紹介や相談窓口等がわかるよう、パンフレットを作成する。(1,500部作成)	平成30年度は、市民後見制度促進利用促進のためのシンポジウムを1回開催し、65名が参加した。パンフレットは作成しなかったため、事業費を減額した。	△	パンフレットの作成は行われなかったが、代わりに相談窓口の一覧を掲載した資料を配布したため、概ね目標を達成している。
69	介護施設への潜在看護師発掘研修支援事業	⑤	桑員地域・三泗地域・鈴亀地域・津地域・伊賀地域・松阪地域・伊勢志摩地域・東紀州地域	県内の事業者団体	各地域合計120名の看護師を対象とする。	研修参加者は3会場で60名であった。	×	新聞やWEB広告等の枚数や回数を減らしたことにより、昨年の約半分の受講となったが、1名の採用につながった。今後は、これまでのセミナー形式のような一方的な研修だけでなく、座談会方式等内容の工夫が必要である。
70	職場体験事業	⑤	桑員地域・三泗地域・鈴亀地域・津地域・伊賀地域・松阪地域・伊勢志摩地域・東紀州地域	三重県	職場体験日数を772日程度とし、参加者を386名程度とする。	体験日数述べ446日、参加者202名であった。	△	中高生の体験希望者を別事業で対応するなどした結果、目標値に達しなかった。更に意義のある体験となるよう見直していく。
71	住民主体の自助・互助力を高める体操指導士養成事業	⑤	桑員地域・三泗地域・鈴亀地域・津地域・伊賀地域・松阪地域・伊勢志摩地域・東紀州地域	県内の事業者団体	体操指導士養成研修を1回開催し、30名を養成する。	養成研修受講者 42名 フォローアップ研修受講者 39名	○	
72	移動(輸送)サービス従事者養成研修事業	⑤	桑員地域・三泗地域・鈴亀地域・津地域・伊賀地域・松阪地域・伊勢志摩地域・東紀州地域	県内の市町、介護事業所等	定員30名×8地域の合計240名の受講。	5地域で研修を開催し、157名が受講した。	△	開催地域を減らして実施したため、目標人数は達成しなかった。
73	介護未経験者に対する研修支援事業	⑤	桑員地域・三泗地域・鈴亀地域・津地域・伊賀地域・松阪地域・伊勢志摩地域・東紀州地域	県内の市町、介護事業所等	介護職員初任者研修等の受講者数を30名とする。	初任段階の介護職員6名の介護職員初任者研修受講に対して支援を行	×	予定より受講者数が少なかった。
74	福祉・介護人材マッチング支援事業	⑤	桑員地域・三泗地域・鈴亀地域・津地域・伊賀地域・松阪地域・伊勢志摩地域・東紀州地域	三重県	就職者数250名程度とする。	キャリア支援専門員の支援により介護分野に152名が就職した。	△	求職者数が落ち込んでおり、目標に届かなかった。求職者を県福祉人材センターにつなげる仕組みを見直していく。
75	松阪市潜在専門職トレーニングプロジェクト	⑤	津地域・松阪地域・伊勢志摩地域	県内の事業	①県内3校の高校と、2校の大学へ出前事業を実施し、参加者を120名とする。 ②研修を1回開催し、参加者を20名とする。 ③マッチングによる就職者を5名とする。 ※アンケートによる介護のイメージ50%改善を目標。	①県内1校の高校と、1校の大学へ出前事業を実施し、参加者が180名となった。 ②研修を1回開催し、参加者が21名となった。 ③3名が就職した。	△	概ね目標を達成できた。
76	将来の介護サービスを支える若者世代の参入促進事業	⑤	桑員地域・三泗地域・鈴亀地域・津地域・伊賀地域・松阪地域・伊勢志摩地域・東紀州地域	県内の養成施設	①6会場で2回の模擬事業を実施。 ②日本語学校約70校へガイドブックを配布 ③学習支援を県養成施設5校にて毎月実施する。	①8会場で20回の模擬事業等を実施。 ②ガイドブックを1,500部作成し配布。 ③学習支援を県養成施設5校にて22回実施。	○	
77	小規模事業所等人材育成支援事業	⑤	桑員地域・三泗地域・鈴亀地域・津地域・伊賀地域・松阪地域・伊勢志摩地域・東紀州地域	三重県	人材の育成・定着等、専門的な助言・指導を行うアドバイザーを13回以上派遣する。 介護技術の向上等に関する研修講師を50回以上派遣する。	アドバイザーを16事業所に、研修講師を92回派遣した。	○	
78	社会福祉研修センター事業費補助金	⑤	桑員地域・三泗地域・鈴亀地域・津地域・伊賀地域・松阪地域・伊勢志摩地域・東紀州地域	三重県社会福祉協議会	研修を17回開催し、受講者を1,160名とする。	研修が16回開催され、1,126名が受講した。	△	受講者数は目標に届かなかったが、事業に対するニーズがあるため引き続き実施。

	事業名	事業の区分(注1)	区域名	事業の実施主体	事業の目標	事業の達成状況	目標達成状況	備考
79	介護サービス提供事業者資質向上事業	⑤	桑員地域・三酒地域・鈴鹿地域・津地域・伊賀地域・松阪地域・伊勢志摩地域・東紀州地域	県内の事業者団体、職能団体	研修を55回開催する。	研修を86回開催した。	○	
80	喀痰吸引等指導者養成研修事業	⑤	桑員地域・三酒地域・鈴鹿地域・津地域・伊賀地域・松阪地域・伊勢志摩地域・東紀州地域	三重県	喀痰吸引等の研修(1号・2号研修)を受ける介護職員等の指導や評価のできる指導者の養成を100名/年とするために、指導者養成研修を2回(50名×2回)開催する。 喀痰吸引等を行うことができる介護職員の養成を90名/年とするため、3号喀痰吸引等研修を1回(90名)開催する。	平成30年度は、指導者研修(1号・2号研修)を53名が修了するとともに、喀痰吸引等を行うことができる介護職員(3号研修の基本研修修了者)を22名養成した。	△	目標には届かなかったが、喀痰吸引等研修に対するニーズはあるため、引き続き実施。
81	介護職員キャリアアップ研修支援事業	⑤	桑員地域・三酒地域・鈴鹿地域・津地域・伊賀地域・松阪地域・伊勢志摩地域・東紀州地域	県内の職能団体、養成施設、介護事業所等	キャリアアップ研修を26回実施し、受講者を850名とする。 キャリアアップのための研修受講料を150名に補助する。	キャリアアップ研修を28回実施し、588名が受講した。 キャリアアップのための研修受講料を103名に補助した。	△	概ね目標を達成した。
82	介護支援専門員スーパーバイザー派遣事業	⑤	桑員地域・三酒地域・鈴鹿地域・津地域・伊賀地域・松阪地域・伊勢志摩地域・東紀州地域	県内の職能団体等	スーパーバイザーを派遣する事業所数を25事業所とする。	25事業所に派遣した。	○	
83	認知症当事者視点を重視したケア意識醸成事業	⑤	桑員地域・三酒地域・鈴鹿地域・津地域・伊賀地域・松阪地域・伊勢志摩地域・東紀州地域	県内の事業者団体	講演会の参加者が200人以上。	講演会の参加者は395名であった。	○	
84	技能実習生への介護技術指導者研修事業	⑤	桑員地域・三酒地域・鈴鹿地域・津地域・伊賀地域・松阪地域・伊勢志摩地域・東紀州地域	県内の職能団体	1回開催し、参加者を30名とする。	研修を1回開催し、18名が参加した。	△	目標達成できなかったが、事業に対するニーズがあるため引き続き実施。
85	地域密着型サービスにて認知症ケアに携わる人材の育成のための研修事業	⑤	桑員地域・三酒地域・鈴鹿地域・津地域・伊賀地域・松阪地域・伊勢志摩地域・東紀州地域	県内の事業者団体	研修を1回開催し、受講者を60名とする。	研修を3回開催し、受講者数は83名であった。	○	
86	認定介護福祉士養成研修受講支援事業	⑤	桑員地域・三酒地域・鈴鹿地域・津地域・伊賀地域・松阪地域・伊勢志摩地域・東紀州地域	県内の事業者団体	認定介護福祉士養成のための研修受講料を80名に補助する。	研修受講料の補助を1名に行った。	×	目標達成できなかったが、事業に対するニーズがあるため引き続き実施。
87	リハビリテーション職種に対する喀痰吸引等研修事業	⑤	桑員地域・三酒地域・鈴鹿地域・津地域・伊賀地域・松阪地域・伊勢志摩地域・東紀州地域	県内の職能団体	研修を1回実施し、参加者30人以上を確保する。	研修を1回実施し、参加者は43人であった。	○	
88	各種研修にかかる代替要員の確保対策事業	⑤	桑員地域・三酒地域・鈴鹿地域・津地域・伊賀地域・松阪地域・伊勢志摩地域・東紀州地域	県内の介護事業所等	代替要員確保による研修受講人数を50名とする。	研修受講人数は36名であった。	△	事業の周知期間の見直しをするなどし、事業の活用を進める。
89	潜在的有資格者等再就業促進事業	⑤	桑員地域・三酒地域・鈴鹿地域・津地域・伊賀地域・松阪地域・伊勢志摩地域・東紀州地域	三重県	研修を5回開催し、受講者を50名以上とする。 研修参加者のうち就職者数10名以上とする。	研修を5回開催し、52人が受講した。また、13名が就職へつながった。	○	
90	認知症ケアに携わる人材育成のための研修事業	⑤	桑員地域・三酒地域・鈴鹿地域・津地域・伊賀地域・松阪地域・伊勢志摩地域・東紀州地域	三重県	① かかりつけ医認知症対応力向上研修:60名受講 ② 認知症サポート医養成研修:10名受講 ③ 認知症サポート医フォローアップ研修:100名受講 ④ 病院勤務の医療従事者及び看護職員認知症対応力向上研修:300名受講 ⑤ 歯科医師認知症対応力向上研修:50名受講 ⑥ 薬剤師認知症対応力向上研修:200名受講 ⑦ 認知症初期支援チーム研修:45名受講 ⑧ 認知症地域支援推進員養成研修:65名受講 ⑨ 認知症対応型サービス事業管理者研修:120名受講 ⑩ 認知症対応型サービス事業開設者研修:30名受講 ⑪ 小規模多機能型サービス等計画作成担当者研修:30名受講 ⑫ 認知症介護指導者フォローアップ研修:3名受講 ⑬ 認知症介護研修カリキュラム検討会:2回実施	① かかりつけ医認知症対応力向上研修を59名が受講 修了者数671名 ② 認知症サポート医養成研修を33名が受講 修了者数198名 ③ 認知症サポート医フォローアップ研修を76名が受講 修了者数450名 ④ 病院勤務の医療従事者向け認知症対応力向上研修を111名が受講 修了者数543名 ⑤ 歯科医師認知症対応力向上研修は1回実施 32名受講 ⑥ 薬剤師認知症対応力向上研修は2回実施、34名受講 ⑦ 認知症初期集中支援チームを40名受講 ⑧ 認知症地域支援推進員研修を54名受講 ⑨ 認知症対応型サービス事業管理者研修を2回実施、60名が受講 ⑩ 認知症対応型サービス事業開設者研修を1回実施、14名が受講 ⑪ 小規模多機能型サービス等計画作成担当者研修を1回実施、受講者数を29名が受講 ⑫ 認知症介護指導者フォローアップ研修の受講者1名 ⑬ 認知症介護研修カリキュラム検討会を年2回実施	△	研修の周知時期や周知の対象範囲、開催場所や開催時期などを委託先と検討していく必要がある。
91	地域包括ケアシステム構築人材養成研修	⑤	桑員地域・三酒地域・鈴鹿地域・津地域・伊賀地域・松阪地域・伊勢志摩地域・東紀州地域	三重県(三重県地域包括・在宅介護支援センター協議会に委託) 三重県社会福祉協議会、県内の職能団体	①地域包括支援センター職員研修事業:研修4回開催し、受講者を170名とする。 ②地域支援活動推進のための人材養成研修:研修3回開催し、受講者を120名とする。 ③地域包括支援センターのための後見申立支援研修事業:研修2回開催し、受講者を100名とする。	① 研修会を4回開催し、受講者数は延べ134名であった。 ② 研修会を3回実施し、受講者数は65名であった。 ③ 後見申立支援研修の受講者は70名、親族後見人支援研修の受講者数は175名であった。	△	一部受講者数が目標に届かなかったが、事業に対するニーズがあるため引き続き実施する。
92	権利擁護人材育成事業	⑤	桑員地域・三酒地域・鈴鹿地域・津地域・伊賀地域・松阪地域・伊勢志摩地域・東紀州地域	三重県社会福祉協議会、県内の市町、職能団体	研修を8回開催し、受講者を250名とする。	研修を8回開催し、受講者は199名であった。	△	目標達成できなかったが、事業に対するニーズがあるため引き続き実施。
93	リハビリテーション専門職を対象とした人材育成研修(地域の在宅療養者の摂食・嚥下研修)	⑤	桑員地域・三酒地域・鈴鹿地域・津地域・伊賀地域・松阪地域・伊勢志摩地域・東紀州地域	県内の職能団体	研修を1回開催し、受講者数を60名とする。	研修参加者 26名	×	関係者への周知方法について改善を図る。リハビリテーション専門職の摂食嚥下領域のスキルアップのため引き続き実施する。

	事業名	事業の区分 (注1)	区域名	事業の実施主体	事業の目標	事業の達成状況	目標達成状況	備考
94	三重県リハビリテーション情報センター人材育成研修事業	⑤	桑員地域・三泗地域・鈴鹿地域・津地域・伊賀地域・松阪地域・伊勢志摩地域・東紀州地域	県内の職能団体	介護予防推進リーダー育成 50名 地域包括ケア推進リーダー育成 50名	自立支援・介護予防推進リーダー研修受講 52名 地域包括ケア推進リーダー研修受講者 51名	○	
95	新人介護職員に対するエルダー、メンター制度等導入支援事業	⑤	桑員地域・三泗地域・鈴鹿地域・津地域・伊賀地域・松阪地域・伊勢志摩地域・東紀州地域	県内の職能団体	研修を1回開催し、受講者を30名とする。	研修を1回開催し。受講者は35名であった。	○	
96	管理者等に対する雇用管理改善方策普及・促進事業	⑤	桑員地域・三泗地域・鈴鹿地域・津地域・伊賀地域・松阪地域・伊勢志摩地域・東紀州地域	県内の事業者団体、介護事業所等	セミナーを6回開催し、参加者を180名とする。	管理者に対する研修会を6回開催し、197名が受講した。	○	
97	労務・雇用管理に関する訪問相談事業	⑤	桑員地域・三泗地域・鈴鹿地域・津地域・伊賀地域・松阪地域・伊勢志摩地域・東紀州地域	県内の事業者団体、介護事業所等	専門家による訪問相談を15事業所に行う。	専門家による訪問相談を27事業所に行う。	○	
98	「介護助手」の取組推進支援事業	⑤	桑員地域・三泗地域・鈴鹿地域・津地域・伊賀地域・松阪地域・伊勢志摩地域・東紀州地域	三重県	「介護助手」の取組の進め方等に関するマニュアルを作成する。	介護助手導入実施マニュアルを作成し、全国都道府県および県内関係団体へ配布した。	○	
99	元気高齢者「介護助手」育成支援事業	⑤	桑員地域・三泗地域・鈴鹿地域・津地域・伊賀地域・松阪地域・伊勢志摩地域・東紀州地域	県内の事業者団体	10施設にて実施し、40名の就労につなげる。	13施設で58名が就職した。	○	
100	管理者等に対する雇用管理改善方策普及・促進事業(介護ロボット導入支援事業)	⑤	桑員地域・三泗地域・鈴鹿地域・津地域・伊賀地域・松阪地域・伊勢志摩地域・東紀州地域	県内の介護事業所等	介護ロボットを活用した業務の効率化等を検証するとともに、団体、他の施設及び事業所の研修等において普及啓発を図る。	19事業所に対して、77台の介護ロボットの導入支援を行った。	△	介護職場の負担軽減のため、必要な事業であることから引き続き実施。
101	働きやすい介護職場応援制度構築事業	⑤	桑員地域・三泗地域・鈴鹿地域・津地域・伊賀地域・松阪地域・伊勢志摩地域・東紀州地域	三重県	実行宣言を15事業所で実施。	175事業所が取組宣言を行った。	○	

○:49  
△:40  
×:12  
合計:101